



2012年5月31日記者発表
(公益社団法人) 日本伝熱学会

抜山記念国際賞（第1回）はダルムスシュタット工科大学 Peter Stephan 教授へ

5月31日、日本伝熱学会総会（富山市）にて、同学会創立50周年を記念して創設された抜山記念国際賞（The Nukiyama Memorial Award）の初の受賞者として、ダルムスシュタット工科大学（ドイツ）の Peter Stephan 博士（別紙参照）が選ばれたことが報告された。同教授の相変化伝熱、特に独自の先端の実験計測、数値解析を通じた沸騰熱伝達現象の解明による伝熱科学への顕著な寄与が認められた。来る11月13-15日に長崎市で開催の第3回国際伝熱フォーラムで受賞講演に続き授賞式で賞状、楯、賞金50万円が贈られる。

同賞は、液体の沸騰現象に特異なモード変化が現れることを初めて発見し、その特性曲線が Nukiyama Curve として世界に知られる伝熱学のパイオニア、抜山四郎東北大学名誉教授（故人）の名前を冠して、伝熱学、熱科学、熱工学に関連した分野で国際的に秀でた活躍をしているおよそ50歳未満の国内外の科学者1名に、日本伝熱学会より2年毎に授与される賞である。

昨年10月以来、世界の科学者、研究者宛からの推薦を公募し、国際賞委員会における厳正な審査を経て受賞者が決定された。同委員会の委員は以下の通りである。

<抜山記念国際賞委員会名簿>

委員長	笠木伸英（科学技術振興機構 上席フェロー）
副委員長	門出政則（佐賀大学 教授）
委員	Avram Bar-Cohen（University of Maryland 教授，米国）
	Ping Cheng（Shanghai Jiaotong University 教授，中国）
	Gian Piero Celata（ENEA 研究所 教授，イタリア）
	Satish Kandlikar（Rochester Institute of Technology 教授，米国）
	吉田英生（京都大学 教授）

(以上)